学校通信　No. 15　　　　平成２７年１２月１０日　発行

島中だより

教育目標
学ぶ意欲にとみ
心豊かで　たくましい生徒

八戸市立島守中学校
TEL ８３－２０１１
文責　校長　竹 花　和 人

脳に悪い7つの習慣

校長　　竹 花　和 人

※１２月８日（火）全校朝会での講話より

先月の全校朝会では「今日の読書こそが、真の学問である」という吉田松陰の言葉を紹介しました。そして、忙しいかもしれないけれども、テスト勉強の合間など、ほんのちょっとした時間に読書をしてほしいという話をしました。皆さんに読書するようにと話したので、私も読書しようと思い、しばらくぶりに本をたくさん買いました。その中の１冊である「脳に悪い７つの習慣」という本から、皆さんに役立ちそうなことを紹介します。この本の著者である林成之さんは、日本大学大学院教授として活躍されているだけでなく、北京オリンピックでは競泳日本代表チームの選手たちに指導したことでも有名な脳神経外科のお医者さんです。

林さんが述べている「脳に悪い７つの習慣」のなかで、今日は特に「『嫌だ』『疲れた』と愚痴を言う」ということについて話します。林さんによると、「理解力、思考力、記憶力などの脳の力は、どれも最初の『感情』によってそのパフォーマンスが左右される。一度、マイナスのレッテルをはられた情報は、しっかり理解できず、思考が深まらず、記憶もしにくくなってしまう。脳の理解力や思考力、記憶力を高めるには、まず『おもしろい』『好きだ』というレッテルをはらなければならない。『無理だ』『難しい』などの否定的な言葉は、自分が言っても、周囲が言うのを聞いても、脳にとっては悪い影響しかない・仕事や勉強に取り掛かる前に愚痴を言うのは避けるべきである。（P28 より抜粋）」と述べています。

学校生活を振り返ると、まず苦手な教科の授業は、どうしてもマイナスのレッテルがはられていると思います。これを変えていくことが、脳のためには大切だということです。ですから、苦手な教科の授業前には、嘘でもいいから「楽しい」とか「早く始まってほしい」などプラスの言葉をいうようにしてみましょう。これを３月まで続けられれば、きっとその教科のことが苦手ではなくなると思います。この林さんの主張と同じようなことを、イギリスの劇作家であるシェークスピアが述べています。シェークスピアの有名な言葉に「人の言葉は善意にとれ、そのほうが５倍も賢い」というものがあります。林さんの主張もシェークスピアの言葉もどちらもマイナス思考ではなく、プラス思考で人の話を聞いて学ぶことの大切さを述べているからです。

皆さんもこれからの学校生活で、「愚痴は言わず、プラス思考」で生活してみましょう。そうすると、島守中学校が今以上に素晴らしい学校になると思います。

人の言葉は善意にとれ、そのほうが５倍も賢い

※ちなみに、林成之さんが述べている「脳に悪い７つの習慣」とは

①「興味がない」と物事を避ける
②「嫌だ」「疲れた」とグチを言う
③言われたことをコツコツやる
④常に効率を考えている
⑤やりたくないのに我慢して勉強する
⑥スポーツや絵などの趣味がない
⑦めったに人をほめない

です。

もうすぐ冬休み

少し前に２学期末テストが終わったと思ったら、１２月もすでに１０日が過ぎ、２学期もあと８日となりました。生徒たちは、期末考査が終わったあと、すぐに「ドリルテスト・１年実力テスト・三者面談・３年食育講演会・清掃強化週間」などの活動が続き、慌ただしい生活のまま冬休みに入ることになりそうです。

そのような中で、生徒会役員が玄関ホールにクリスマスツリーを飾りつけるなど、１２月らしい生徒の活動が行われています。休憩時間や放課後の生徒たちの表情からも、冬休みが近づいてきている喜びが感じられます。

各学級では、これから「冬休みの計画」を作成したり、「冬休みの生活の諸注意」について指導したりする予定です。冬休み中は「大晦日・正月・元朝参り・成人式」などの伝統的行事が行われることから、それぞれの行事の意義についても説明していきたいと思います。御家庭でも冬休みの過ごし方について話題にしていただければ幸いです。

朝と放課後の自主学習

朝と放課後に玄関ホールで自主的に学習をしている生徒が増えています。特に放課後は、３年生が学習会終了後に玄関ホールに移動して、友達と相談しながら問題を解いている姿が多くみられます。受験生としての意識が高まってきたようです。

１２月になり、校内もかなり寒くなってきました。そこで、生徒が自主学習しているときには玄関ホールに暖房を入れているのですが、廊下との仕切りがないために、せっかく暖まった空気が逃げてしまいます。そこで、教頭先生が寒さを防ぐ壁をつくってくれました。これで少しは暖かく自主学習ができているようです。また、冬休みの午後は理科室を開放するなど、寒さ対策を工夫しながら、生徒の自主学習を支援していきたいと思います。

目指す進路実現のために

１２月７日（月）より、全校一斉に三者面談を実施しています。１・２年生は、「現時点での夢・希望する進路」に基づき、「これからの中学校生活での目標」をもたせ、「夢・希望する進路」に向けて何を頑張っていくかを明らかにすることが面談の目的です。

３年生は、「卒業後に進みたい高校等を決定し、それに向けてどのように取り組んでいくかを決意させる」ことが面談の目的で、１・２年生以上に大切な面談となっています。

３年生は、学級担任から「現時点での成績」と「目標とする成績」について説明されたと思います。この２つに開きがある場合、この差を詰めていくには、例えば「１２月中に苦手な社会科の地理的分野の内容について問題集を準備してわかるまで繰り返し解く」など、「具体的な勉強の仕方」を明確にすることが大切です。もちろん、苦手な教科の勉強方法をどうすればよいかは、わからない生徒も多いと思いますので、積極的に教科担当の先生に質問して勉強の方法について質問し、教えてもらうようにしてほしいと思います。

この三者面談をきっかけに、「夢・希望する進路」を実現するために今まで以上に授業や家庭学習に対して真剣に取り組む生徒が増えてくれることを期待しています。